



編集発行所 千990 山形市鉄砲町一丁目 15-64 山形県立山形西高等学校 嬰鳴同窓会 電話 0236-41-3504



初々しい感動で

嬰鳴同窓会長 大宮文子

新会長として一番目の仕事は、入学式の祝辞でした。希望に輝く多くの瞳を目の前にした時、溢れ若き、初々しさに圧倒され一瞬言葉が出て来ませんでした。でもこの感覚を同窓会長としての出発にしようと思えました。五月の同窓会評議員会では皆様から温かく迎えられ、平成六年度の同窓会の議題は無事に承認され動き出しました。五月二十九日には西村山郡支部総会に出席致しました。前会長の相澤様と一緒でしたが

送り返しました。足腰もお丈夫で、是非そのご健康にあやかりたいと存じます。当番学年の皆様は至れり尽くせりのお世話をして下さいまして有難うございました。ご出席の皆様が感謝して居られました。十月一日には嬰鳴女声合唱団が高藤茂吉文化賞の受賞の栄に輝き、十一月三日にはその贈呈式が行なわれました。同窓会からもお祝、祝電、花束を差し上げました。嬰鳴の歴史に大輪の花を咲かせて下さいまして大変すばらしく心から感謝申し上げます。十一月二十五日に全日本合唱コンクール全国大会が金沢市で開かれまして。私も激励しに行ってみました。エレガントな美しい母校の合唱をすばらしいと思いましたが残念な年銀賞に終わってしまいました。さて、七月七日に嬰鳴後援会理事が開かれました。後援会、同窓会、PTAの代表者で構成されている会ですが、議題の一つに創立百周年の事業に向けての話もありました。そして九月には創立百周年記念事業実行委員会が開かれました。記念事業の中心は

記念誌の発行でございます。これは同窓会が中心の事業となることでしょうか。昔の資料などお持ちの方は是非ご提供下さるようお願い申し上げます。経費としてご寄付はいただかないが、篤志寄付はいただくこととなります。同窓会ではこの件をどうするか皆様からご意見を伺うことになるでしょう。同窓会でも実行委員会専門部の組織が作られ少くも動き出して居ります。今年三月八日は三百余名の卒業式が挙行され、私も出席致しました。新しい船出に当って健康に、優しく、たくましく、聡明に生きて行かれるよう祝辞をお送り致しました。一番若い同窓生として加わったわけで大変頼もしく存じます。そして四月には又若船のような新入生が母校に入学されました。平成七年六月二十五日、母校は創立九十七周年の記念日を迎えました。長い年月絶えることなく嬰鳴の歴史と伝統は年輪を重ねて参りました。在校生、卒業生一人一人の努力と実績でこれからも末永く発展して行くことをお祈り致します。



嬰鳴同窓会の皆様には如何お過ごしでしょうか。

学校の中庭の池では錦鯉が元気に泳ぎ回り、見る人の目を惹きつけてくれます。池や庭石の佇が、学習と部活動の両立をめざして励んでいる生徒の心のオアシスとなっています。本校を訪れる方々もこの佇を頻りに賞賛していかれますが、先達の賢明な教育環境づくりの賜物であることに改めて敬意と感謝を申し上げ、今後一層の充実に向け努力していくことを心したところであります。

先般、県外から視察に来られた先生が、長い廊下を生徒が横一列

に並んで雑巾がけをする姿を見て、いたく感心して帰られました。大正十四年、当時の摂政の宮殿下が本校を行啓されたとき、学校あげて清掃に取り組み、床磨き柱磨きに精を出されたこと、磨き過ぎて最後の仕上げには砥の粉で艶消しまでされた様子が、創立八十周年の記念誌に記されていますが、明治四十一年に東宮殿下が行啓されたときも、きつと同じような取り組みがなされたことでありましょう。その良き伝統が代々継承されてきたことを大切に、床磨き(清掃)を、生徒の心を磨く教育の一つとして位置づけ、努力を続けて参りたいと思います。

今年度は戦後五十年、節目の年であり、第二次世界大戦終結の

歴史をかみしめて

学校長 大場文雄

が度重なる受難にもめげず、学校

歌声が一つになって 平成6年度 嬰鳴同窓会総会

平成六年度の総会は、十一月十二日土曜日、オーヌマホテルで、六百名を超える皆様に御出席いただき開催されました。席の両方が上がって、日中は穏やかな日和となり、久しぶりにお会いできる恩師の先生方を目で捜したり、同級生と笑みを交す内に、開会となりました。六年度は、大場文雄校長先生が赴任され、又、同窓会長、副会長様方の交替があった節目の年でした。大宮会長様、校長様、理事の皆様、御挨拶、相な感じを覚えました。庄司善助先生の元気の出る乾杯で祝賀が始まりました。カベちゃんこと草壁喜一郎先生や佐藤正彦先生の前副会長様へ、先生の楽しいスピーチに笑ったり、神尾ヒサ東支部長様のお話を伺ううちに、嬰鳴女声合唱団の演奏が贈呈されました。折しも合唱団は、高藤茂吉文化賞を受賞されました。阿部昌司先生と安孫子団長様により、同窓会より花束が贈られ、お祝い申し上げます。曲目は、佐藤真作曲の「花の中にねむる」でした。女声合唱のやさしい歌声を聞く時ほど、自分が女子高生だったのだと感じることはありませぬ。祝賀者六名、喜寿祝賀者三十九名のお名前をお呼び下さいますと、先陣方がお健やかにお立ちくださりました。

全員が、心よりの拍手で、お祝い申し上げます。米寿代表の小嶋ツネ様と御門下の方々の吟詠や、喜寿代表の竹下歌子様の御挨拶を、自分も斯くありたいと思ひながら、お聞きいたしました。母校勤続十年表彰では、加藤桂子先生と濱田卓良先生に、感謝が贈られました。

祝賀は、同窓生の藤間光登様と藤間松廣様による、長唄「越後獅子」でした。息の合ったお二人の、華やかでテンポが良く、軽快な中にもしっとりとした情緒を感じ、美しい舞姿に、ため息をつきながら見入りました。休憩の後は、元西高講師の庄司香代子先生のピアノ独奏があり、井康三郎の「荒城の月」の主題による変奏曲、ドビュッシーの月の光。気品に満ち、透明感のある見事な演奏に、日頃の雑事を忘れ、ふっと肩が軽くなるような、そんな感じを覚えました。庄司善助先生の元気の出る乾杯で祝賀が始まりました。カベちゃんこと草壁喜一郎先生や佐藤正彦先生の前副会長様へ、先生の楽しいスピーチに笑ったり、神尾ヒサ東支部長様のお話を伺ううちに、嬰鳴女声合唱団の演奏が贈呈されました。折しも合唱団は、高藤茂吉文化賞を受賞されました。阿部昌司先生と安孫子団長様により、同窓会より花束が贈られ、お祝い申し上げます。曲目は、佐藤真作曲の「花の中にねむる」でした。女声合唱のやさしい歌声を聞く時ほど、自分が女子高生だったのだと感じることはありませぬ。祝賀者六名、喜寿祝賀者三十九名のお名前をお呼び下さいますと、先陣方がお健やかにお立ちくださりました。



平成7年度 東京支部総会

平成7年の嚶鳴同窓会東京支部総会が、七月十六日(日)に木々の緑が濃い東京プリンスホテル2階のマグノリアホールにおいて開催され、二七名の同窓生が一同に会する盛大な集いとなりました。

出席者中一番の先輩は、昭和三年卒業の庄司マサ様と松林みつ様で、お二人には、最も長きにわたり同窓会を支えて来られたその功績に感謝の気持ちを込め、支部より記念品が贈られました。

当日は来賓として、西高校長の長瀬野敏子先生、同事務局長の栗野敏子先生、そして当番学年恩師の草壁喜一郎・阿部秀而両先生の五人の方々が山形からお越し下さいました。

現在の西高の姿を伝える先生方のお話、西高生時代の自分たちを重ね合わせてみたり、また更にずっと遡って百年にならんとする母校の長い歴史に思いを馳せたり、と様々な思いが胸をよぎったひとときでした。恩師の草壁先生、阿部先生は、それぞれ昨年、一昨年に定年を迎えていらつしやいましたが、お姿もお話ぶりも当時とまったくと言ってよいほどお変わりなく、卒業以来十七年という月日の流れが信じられない気持ちでした。

今総会のアトラクションは、西高昭和四十四年卒の榎谷博子さんのソプラノ独唱でした。毎年総会で「みんなの歌」の指導をしてくださっている榎谷さんが、今年はお得意の歌曲やオペラのアリアを披露してくださるというので一同の期待もひとしおでした。ピンクのロングドレスに身を包んだ榎谷さんは、伴奏の奥千歌子さんの奏でるメロディにのって、伸びやかな、そして女性らしいしっとりとした歌声で私たちを魅了しました。歌の合間に入る語りにも彼女の気さくな人柄が感じられ、暖かなぬくもりに満ちた演奏会でした。

平成七年の支部総会の当番を私たちが昨年夏、何をやるにも手さぐり状態の私たちがでしたが、神尾支部長はじめ支部役員、評議員の皆様方の暖かいご支援を頂戴し、なんとか開催にこぎつけることができました。

山形大学修了後、中学校教員、県立図書館を経て、子どもの本紙芝居などの創作、普及活動、県内各地の子どもの本研究会の結成、女性の読書活動の推進など主婦業をこなしながら意欲的にやっています。

現在は山形女子短期大学の非常勤講師をしていられますが、一貫して流れる信念は、過去あまりにも長い間、社会的に下の地位にあった女性、子どもの立場を引き上げねばならないということ。そしてその自分の胸にある火を確かにかみしめ、この繋がりが今後とも脈々と受け継がれ、発展し続けることを切に願ってやみません。



昭和五十三年卒 後藤志津子 河村 美雪



山形県立山形西高等学校 創立百周年記念誌の発刊に際して

西高等学校は、平成十年に創立百周年を迎えることになりました。その喜びは、在校生とその関係者のみならず全国各地におられる卒業生全ての大きな喜びです。西高等学校に関係する人々みんな、盛大にお祝いしたいと思えます。記念事業の一つとして、「県立山形西高等学校百周年記念誌」を発刊することになりました。これまでに十年毎に「七十年」「八十年」「九十年」と、数々の卒業生から貴重な玉稿をいただき、女子高ら

同窓生の活躍

うたいつづける「紅の詩」

昭和23年高女卒 佐々木 悦さん

テレビや新聞、数々の子ども向けの本でおなじみの佐々木悦さんですが、一九七六年紙芝居「うまのやま」での高橋五山賞を皮切りに数々の賞を受けられ、昨年は、山形県教育功労賞を受賞されました。

山形大学修了後、中学校教員、県立図書館を経て、子どもの本紙芝居などの創作、普及活動、県内各地の子どもの本研究会の結成、女性の読書活動の推進など主婦業をこなしながら意欲的にやっています。

現在は山形女子短期大学の非常勤講師をしていられますが、一貫して流れる信念は、過去あまりにも長い間、社会的に下の地位にあった女性、子どもの立場を引き上げねばならないということ。そしてその自分の胸にある火を確かにかみしめ、この繋がりが今後とも脈々と受け継がれ、発展し続けることを切に願ってやみません。

長谷川恵子・作陶展

昭和35年西高卒・女子美大卒

長谷川恵子さんは、英国デザインオンの太陽や空や風の中で、十八年間陶芸ひとすじに制作してきました。八年ぶりの山形の個展は、ますます生命感にあふれ、深い輝きに満ちた作品ばかりでした。

独特な感性で型にはまらない大胆な作品の数々は、大英博物館での個展を初め、パブリックコレクションとして、ノールウェー、オランダ、オックスフォード、西ドイツ、アメリカの美術館に求められています。

著書には「紅花ものがたり」があげられます。今度の作品も、厳しく軟弱な形を許さず、青銅製かと思われがえ



(長岡 玲子)

新人アナウンサーとして

平成元年西高卒 武田 祐子

山形にフジテレビが映らなくなると二年数ヶ月、「笑っていいとも」や「スーパータイム」も、皆さんにとっては遠い昔の思い出となっていることでしょうか。その、皆さんにとっては思い出の番組が、現ドコーストで開催されるフルマラソンの仕事場となつていきます。この仕事に就いて何より驚いたのは、たった三分位のVTRをつくるのにも丸一日かかるということ。また、お花畑から二分程のお天気に変わるのにも、カメラ、音声、照明、中継連絡、ディレクターなど、20人ほどのスタッフがテレビには映らない所で働いている。その規模の大きさに、ただただ驚嘆するばかりでした。

そんな中、日本中を飛び回り、無我夢中で一年が過ぎました。初めてブラウン管に映った時の緊張感。初めて自分の声を聞いた時の不快感。初めてのレポート、初めての中継、全ての体験が初めての連続。毎回、自分の表現力の無さやアドリブのきかぬさに反省しつつ放し、一度も満足できたことはありませんでした。



(鈴木 貞)

桜井 浜江展

画業65年の軌跡
昭和6/15/7/16・青梅市立美術館
大正13年・第一高女卒(14年・補習科卒)



鬼籍簿

- 佐野 妙子 (昭20高女)
- 佐藤 正子 (昭20高女)
- 長谷川フチ (昭16高女)
- 細谷 ヒデ (昭8女師一)
- 武田 幸 (昭22高女)
- 本間寿美子 (昭22高女)
- 高橋 花江 (昭5女師一)
- 植木あや子 (昭16高女)
- 斎藤あさ子 (昭16高女)
- 遠藤 伸子 (昭16女師二)
- 石沢千枝子 (昭16女師二)
- 後藤はま子 (昭25高女)
- 逸見富美子 (昭25高女)
- 小林 セイ (明43高女)
- 大泉 こい (大11高女)
- 斎藤 与子 (昭31西)
- 桜井 サタ (大14高女)
- 蒔苗 鏡子 (昭4高女)
- 笹原ハナヨ (昭5女師一)
- 小川 敏子 (昭12高女)
- 遠藤 シゲ (昭12高女)
- 遠山やす子 (昭3高女)
- 深瀬 輝子 (昭4高女)
- 菊地真理子 (平3西)
- 丹野 チヨ (昭3高女)
- 高橋 清江 (昭2女師一)
- 渡辺 ヒデ (大14女師本)
- 多田 房子 (昭4高女)
- 佐藤 セキ (昭5女師一)
- 鈴木 敏江 (昭15女師二)
- 大沢 たか (昭10高女)
- 大石千代の (大9高女)
- 加賀山邦子 (昭23高女)
- 宮本 蓉子 (昭22高女)
- 揚妻 クニ (昭2高女)
- 松本 良子 (昭11高女)
- 平吹 ミね (大15高女)
- 佐藤 いな (昭12高女)
- 浦山 義 (昭4高女)
- 相沢 まさ (昭4高女)
- 井尻 トミ (大11高女)
- 原田百合子 (昭15高女)
- 斎藤 いせ (大11高女)
- 阿部 喜代 (昭7女師専)
- 三浦 セツ (大15高女)
- 有路アツ子 (昭33西)
- 山本 林 (昭16高女)
- 熊谷 重俊 (昭16高女)
- 沼澤 豊 (昭16高女)
- 原田 英治 (昭16高女)
- 村山 正善 (昭16高女)
- 武田 次弘 (昭16高女)
- 武田 次弘 (昭16高女)

平成7年度 総会のお知らせ

とき：11月12日(日) 10:00～
ところ：オーヌマホテル (山形市)
会費：5,000円



山形県立山形西高等学校
嚶鳴同窓会総会
平成7年11月12日(日)
10時～12時
オーヌマホテル
山形市

職員動向

- 退職
 - 村山 千代子 (事務次長)
 - 板垣 慶太郎 (業務)
 - 藤田 明子 (家庭)
 - 白田 伊織 (英語)
- 転出
 - 今井 英男 (教頭・社会) 警察学校(教頭)へ
 - 関野 和枝 (体育) 教育庁(県総合運動公園)へ
 - 岩田 正夫 (社会) 村山農高へ
 - 高梨 博実 (理科) 教育センターへ
 - 阿部 伸子 (英語) 天童高へ
 - 長岡 奈保子 (養護) 上山明新館高へ
- 転入
 - 茂木 源雄 (教頭・英語) 酒田中央高より
 - 斎藤 世都子 (事務次長) 山形東高より
 - 佐藤 清良 (業務) 東根工高より
 - 伊藤 行生 (国語) 上山明新館高より
 - 森谷 昌彦 (理科) 山形北高より
 - 村上 周市 (体育) 加茂水産高より
 - 朝倉 睦美 (英語) 新庄農高より
 - 大友 由紀 (英語) 南陽高より
 - 斎藤 恵理子 (家庭) 上山明新館高より
 - 小林 由美子 (養護) 南陽高より
- 渡辺 美樹 (社会)

恩師をたずねて



藤澤 孚先生

すっかり、おばさんになった私、三十年前の女子高生に戻ったような気になったのは、六月末の音楽部の恩師、藤澤孚先生をお訪ねした時です。

音楽は字の如く、「音を楽しむ事」。音楽部での、色々な活動(蔵王での合宿、合唱コンクール、定期演奏会等)が、用意して下さった当時の写真やプログラムを見ながら、楽しく、懐かし思い出され、時間のたつのも忘れる程でした。

藤澤先生は、昭和三十九年より三年間という短い間でしたが、私達の教育に、それこそ全力投球して下さいました。その後、新設となった北高音楽科へ移られ、十一年。そして、現在は、山形女子短期大学で、幼児教育科の教授の職に就かれ、毎日、お忙しい日々を過ごされております。

つと変わる事なく、今もなお、若い学生達に慕われる魅力のある先生に、おはなされる先生が、とても印象的でした。

私は、全く、音楽とは無縁の仕事、お子様達も、立派に成長され、活躍していると、目を輝かせ、嬉しそうに、おはなされる先生が、とても印象的でした。

お忙しい日々を過ごされております。私は、全く、音楽とは無縁の仕事、お子様達も、立派に成長され、活躍していると、目を輝かせ、嬉しそうに、おはなされる先生が、とても印象的でした。

平成七年度 校内合唱コンクール

課題曲

- A たんぽぽ
 - 女声合唱とピアノのための「花に寄せて」より
- B 四つ葉のクローバー
- C Regina coeli
- 〔総合第一位〕 三年四組
- 課題曲 C
 - 自由曲 女声合唱組曲「秘密の花」より
 - 自由曲 「道化服を着た死」
- 課題曲 A
 - 自由曲 女声合唱組曲「ひたすらな道」より
 - 自由曲 「お母さん」
 - 自由曲 「空とぶうさぎ」より
- 自由曲 女声合唱組曲「空とぶうさぎ」より
- 自由曲 「お母さん」
- 自由曲 「空とぶうさぎ」



部活動報告 (平成6年秋~平成7年6月)

〈なぎなた〉	県新人戦	団体 1位	嵐田・堀江
		演技 2位	岩坪・丹野
		演技 3位	岩坪・丹野
	東日本高校なぎなた選手権	演技 5位	岩坪・丹野
	県高校総体	演技 3位	竹田・丹野
		団体 1位	全国大会出場
〈登山〉	県新人戦	1位	
	地区高校総体	優秀選手	高松・原田
	県高校総体	1位	全国大会出場
〈弓道〉	地区新人戦	団体 1位	佐藤展子
	県新人戦	個人 1位	須藤道子
	地区高校総体	個人 1位	須藤道子
	県高校総体	団体 6位	豊岡徳子
		個人 6位	豊岡徳子
〈ソフトテニス〉	地区高校総体	団体 3位	
〈ソフトボール〉	県高校総体	ベスト 8	
〈テニス〉	地区高校総体	個人 3位	長沢裕美
〈陸上〉	地区新人戦	1年100MH 1位	須藤友加里
	県通信陸上	走幅 4位	古畑夏実
	県高校総体	400リレー 6位	大場慶子
〈水泳〉	県新人戦	5位	
〈新体操〉	県高校総体	7位	
〈音楽〉	全日本合唱コンクール	全国大会銀賞	
〈書道〉	全国教育書道展	団体 2位	
	日本武道館全日本書初め展覧会	団体 優良	
	成田山全国読書大会	読売賞 奥山始嘉	
〈放送〉	アナウンス	3位	佐藤夕子 全国大会出場
	朗読	6位	大風朋子 全国大会出場
	ラジオドラマ	2位	全国大会出場



昨夜の雨も晴れ上がった五月末日、一行十六名は修学旅行よろしく、ホテルのマイクロバスで一路庄内方面に向かいました。道中の山の緑の中に点在するこぶしやうつぎの花に目を奪われ、道端の残雪に歓声を上げ、いつの間にか女学生時代に戻っていました。

先ず眺海の森で景観を楽しみました。創建六百年の由緒ある総光寺では有名なきしの杉の間を通り、国の名勝に指定された庭園や寺の建造物を拝観しました。次に松山城跡に歴史を思い、又哲学者阿部次郎先生の生家へ寄って偉人の生い立ちを偲び、皆さん充足感に浸りつつ、夕方湯田川温泉に着きました。



高女十六夜会 クラス会 松山町「眺海の森」にて (平成7.5.30~31)

わがクラス会

古稀がわが楽しみの一泊の旅

(昭・16高女卒)

夕食の肴料理に舌鼓を打ち、学校時代の懐しのメロディに会はずり上がり、湯槽に旅の疲れをいやし、夜遅くまで話はずみ、時の過ぎるのも忘れてしまいました。

昭和三十三年卒業

三曜のついで

大泉喜久子



私たちの学年会を「三曜会」といいます。とてもいい名前だと自負しています。西高第三回卒業生ということでつけたものです。

ところで、今年度は嚶鳴同窓会総会の当番という大役がまわって来ました。

これは大変と、昨年の総会に下検分のために大挙して参加して見ました。すばらしい盛会ぶり三十代の若い当番学年のパワーを感じてきました。

私たちが何とか総会を成功させてはという事で第十二回三曜会を開くことにしました。

なつかしいひとときを

第2回 45年卒学年会

吉村美栄子

新緑に光が眩しい季節、全国に案内状が発送されて、第2回、45年卒学年会が実現したのは平成6年8月6日。この日はお盆を控えた山形の祭りの日であり、平和を祈る日でもあり、総勢80名が熱い思いを抱いてホテルキャッスルに集いました。久しぶりに再会した友は、高校生や大学生の親であったり、キャリアウーマンであったり、卒後25年の歳月を思わずにはいられませんでしたが、近況報告や思い出話に花が咲き、時の経つのも忘れるほどでした。

先生方は渡部先生、日野先生、荒木先生、須藤先生、武田先生(この数か月後に御他界。心より御冥福をお祈り致します)、五十嵐先生がご出席くださいました。昔日と



平成6年度経常費決算

Table with 5 columns: 項目, 本年度予算額, 本年度決算額, 増減(Δ), 摘要. Rows include 入会費, 会費, 雑収入, 計.

2. 支出の部

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 残額, 摘要. Rows include 総会費, 会議費, 後援費, 記念品費, 印刷発行費, 事務費, 通信費, 慶弔費, 交通費, 諸費, 予備費, 計.

3. 差引残高

(総収入) (総支出) (差引残高)
2,115,757円-1,804,174円=311,583円

平成7年度経常費予算

Table with 5 columns: 項目, 前年度予算額, 本年度予算額, 増減(Δ), 摘要. Rows include 入会費, 会費, 雑収入, 計.

2. 支出の部

Table with 5 columns: 項目, 前年度予算額, 本年度予算額, 増減(Δ), 摘要. Rows include 総会費, 会議費, 後援会, 記念品費, 印刷発行費, 事務費, 通信費, 慶弔費, 交通費, 諸費, 予備費, 計.

平成6年度 嚶鳴同窓会基本金決算

1. 収入の部

Table with 2 columns: 項目, 金額. Rows include 前年度繰越金, 前年度経常費残, 総会お祝い, 総会残金, 利子, パッチ立替分, その他.

2. 支出の部

Table with 2 columns: 項目, 金額. Rows include 総会補助, 会議費, お礼, 記念品, 花束代補助, 額縁, 旅費補助.

3. 差し引き残高

8,128,876円

○校内理事 鈴木 尋絵, 高藤 恵理子, 星 潤子, 長岡 玲子, 中村 郁, 鈴木 眞, 玉田 アサ, 富樫 昭子, 清野 和子, 青木 智子

○会報編集委員 編集委員も、新メンバー二名を迎え、楽しく作業させていただきました。原稿を執筆下さった皆様、お忙しい中、ありがとうございます。

編集後記

寄稿のお願い 本会報を飾る同窓生のみなさまの活動について、原稿・情報をお寄せいただきたくお願い申し上げます。

平成6年度 会務報告

- 平成6年4月8日 入学式
5月13日 会計監査
19日 第1回評議員会・新旧会長副会長歓送迎会
29日 寒河江・西村山支部総会
6月25日 創立95周年記念式 校内合唱コンクール
7月10日 東京支部総会 (於:東京プリンスホテル)
8月10日 第2回評議員会・第1回クラス幹事会
11月12日 同窓会総会 (於:オーヌマホテル)
平成7年3月7日 同窓会入会式
8日 卒業式

平成6年度維持会費納入状況

1. 平成6年度 (1994年4月~1995年3月) に納入されたもの

Table with 4 columns: 年度, 学号, 氏名, 金額. Rows include 平成5年度 (1993年度) 以前分, 平成6年度 (1994年度) 分, 平成7年度 (1995年度) 以降分.

<1994年4月~1995年3月納入分 延296クラス分 592,000円>

2. 平成5年度以前に平成6年分が納入されているクラス (納入者氏名省略)

Table with 4 columns: 学号, 氏名, 金額, 備考. Rows include 高女 S11, 南高 S29, 西高 S34, S37.